

「命の水」を商品にしても良いのでしょうか

# 水道民営化を考える講演会

とき 2022年

5月22日(日)

13:30 開演 13:00 開場

参加費  
500円

ところ むらさきかんホール

◆講演 / 辻谷貴文 全日本水道労働組合書記次長

◆報告 / 佐久間敬子

「命の水を守る市民ネットワーク・みやぎ」共同代表

厚生労働省は5年前、水道事業の運営権を民間に売却する『コンセッション方式』導入の対象自治体として愛知県で唯一岡崎市を選定しました。

水道民営化に反対し岡崎市長に当選した中根やすひろ氏は、当選直後の2020年11月に、厚労省に対し「岡崎市はコンセッションを導入をしない」旨の通告をし、これに対し厚労省から「岡崎市にコンセッション導入を働きかけることはしない」との回答を得ました。

一方、宮城県では県民不在のまま上水・下水・工業用水9事業の民営化が決まりました。今回対象となる水道施設の資産価値は918億円、これに対する運営権設定対価は20年間でわずか10億円でした。

また、実際の運転・維持管理を担う新OM会社と県とは契約関係になく、その議決権の51%をフランスの水・エネルギー企業であるヴェオリア社の日本法人ヴェオリア・ジェネッツが保有していることが判明、現地では大問題となったと言われます。

本集会では、辻谷貴文 全国水道労組書記次長の講演と「命の水を守る市民ネットワーク・みやぎ」共同代表の佐久間敬子弁護士のオンライン参加により、水道民営化の問題点を考えます。たくさんの市民のみなさんのご参加をお待ちしています。

『コンセッション方式』とは、施設を自治体が保有したまま運営権を民間に売却し、検針・料金徴収、経営を民間に長期間委ねるものです。

## 主催 水道民営化を考える会岡崎

水資源は公共の財産であることを確認し、上下水道事業の現状と問題点をみんなで考えともに行動することを目的に2019年7月に発足しました。

稲打 八郎 090-3447-9750 井畑 重光 090-6093-6330 中根 勝明 090-8158-3813  
中野 明 090-6354-2051 福田 秀俊 090-4082-3102 山本 仁司 080-4947-5353



# 【コンセッション方式】の問題点

1. 役員報酬、株式配当、法人税等、公営にはない余分な経費が発生する。

2. 海外では水道料金の値上げや水質悪化が多数起きている。

3. 議会や住民による情報開示請求が困難になり、事業運営が不透明になる。

4. 契約期間終了後、熟練した自治体職員がいなくなり、事業運営が立ち行かなくなる恐れがある。

5. 水道工事の多くが大手系列会社に発注され、地元業者の仕事が減る。

6. 災害時に他の自治体からの応援など迅速な対応、復旧作業が困難になる。



## カンパのお願い

私たちの活動は、みなさんのカンパによって支えられています

ゆうちょ銀行	普通預金	
店番	208	
口座番号	1568319	
ゆうちょ銀行	振替口座	記号番号
00860	7	189596
口座名称	水道民営化を考える会岡崎	



辻谷貴文

一般社団法人全水道会館  
水情報センター事務局長  
全日本水道労働組合書記次長

1974年大阪市生まれ  
大阪市水道局職員を経て水道事業や水道政策に関心を持つ。  
労働組合活動や市民運動を通じて社会運動に取り組む傍ら、  
現場で経験した阪神淡路大震災の応急給水や復旧活動で、  
水道事業・公共サービスの重要性を再認識する。

